

♪ミュージアム・コンサート♪

Museum Concert

テ ー マ『シターと歌う聖母への祈り
秋の調べ』

プログラム

1. アイルランド聖歌:アメージンググレース
2. ウラジーミル・ヴァヴィロフ:カッチーニのアベマリア
3. フランス 聖 歌:御母マリア
4. チャールズ・コンヴァース:いつくしみふかき~星の界
5. 村 松 崇 継:彼方の光
6. 瀧 廉 太 郎:荒城の月
7. 瀧 廉 太 郎:秋の月
8. 山 田 耕 柝:この道
9. 山 田 耕 柝:赤とんぼ
10. いずみ たく:見上げてごらん 夜の星を

＜演奏者紹介＞

白井 朝香 (シター)



広島市在住のヴァイオリン、シター奏者。1988年より94年まで新広島フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を務める。2004年日本プロ録音音楽賞優秀賞受賞。2010年光の響サロンを創立。2013年宮島観光大使に任命され、世界遺産厳島神社にて奉納演奏。フランス モン・サン・ミシェル、パリにて公演。2021年代表を務めるプロテウスアンサンブルによる県立広島

病院でのコンサート 25周年記念公演で第10回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞を受賞。海を渡る祈りの響き「シターと奏でる平和記念コンサート」は、広島・長崎・沖縄を中心に、ドイツ・フランス・イタリア・韓国など海外でも公演を重ね「音楽を通じ平和希求の祈りを伝える活動」を国内外で展開し友好の絆を拓いている。

益田 由身子 (ソプラノ)



エリザベト音楽大学声楽学科卒業。門野光伸、木原朋子、ルチアノ・ベルタニョリオ各氏に師事。1987年から2012年までカントイタリアーノ公演にて、イタリアの歌曲やオペラアリア、またはクリスマス音楽を多数演奏。オペラフェスティバル広島に第1回公演から出演し、第6回「花つくり娘」では主役チェッキーナを演じる。世界平和記念聖堂パイプオルガン定期演奏会、カトリック広島司教区主催演奏会などで宗教曲のソリストを務める。2016

年より「海を渡る祈りの響き」平和コンサートにてシターと共演。ノートルダム清心中・高等学校合唱部指導講師。

8/5 CD The Sound Heritage of Notre-Dame de Namur ノートルダム修道会の音遺産～シターと歌う聖母への祈り～をリリース。

＜演奏者コメント＞

シター(cithare/仏)は、神を賛美する歌や感謝の祈りの伴奏楽器として伝えられてきました。歴史は古く旧約聖書の詩篇の中にもその名を見ることができます。120本あまりの弦を張り、右手で旋律、左手で和音を指で弾いて演奏するフランスの琴です。

ひろしま美術館の美しい空間で、天から降るような音色と、ベルカントの歌声でお届けする祈りの歌、日本の抒情歌をお楽しみ下さい。